

2025年10月期 決算説明資料

のむら産業株式会社 証券コード 7131

目 次

- I. 事業概要
- II. 2025年10月期 決算概要
- III. 2026年10月期 業績予想
- IV. 中期経営方針 および 今期トピックス
- V. 株主還元
- VI. Appendix

I. 事業概要

のむら産業グループは
資材・機械をワンストップで企画・販売する
米穀包装業界のトップランナー



人々のライフスタイルの変化に対応し
「包む」をキーワードに事業領域を拡大中



当社グループはBtoBを中心とした2つのセグメントで構成

包装関連事業

(%:売上構成比)

物流梱包事業

約
85%

包装機械

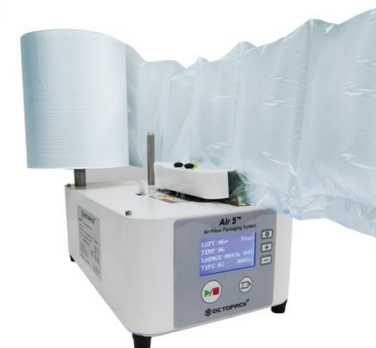
設計・製造、
販売・アフターサービス

包装資材

デザイン・印刷・販売

約
15%

販売・
ソリューション



米穀包装資材・機械のパイオニア

包装資材と包装機械の両方を手掛けニッチ領域で事業を展開

包装・梱包
機械



包装・梱包
資材



経営資源

営業力・開発力

経営資源

企画力・デザイン力・ソリューション力

II. 2025年10月期 決算概要

主力事業の好調な推移により、前期比で増収・大幅増益

売上高

7,111 百万円

前期比：＋7.5%

営業利益

753 百万円

前期比：＋49.1%

親会社株主に帰属する
当期純利益

508 百万円

前期比：＋49.8%

セグメント別売上高

包装関連が堅調に増収・増益、物流梱包事業は通期予想通り減収ながらも増益

包装関連事業

6,195 百万円

前期比：＋9.4%

物流梱包事業

916 百万円

前期比：▲3.6%

包装関連事業において、顧客ニーズを着実にとらえた結果、業績は好調に推移
営業利益が前期比+49.1%増の大幅増益

| 単位：百万円 | 24/10期決算 | | 25/10期決算 | | | | 前期比 | |
|-------------------------|----------|-------|----------|-------|--|--------|------|--------|
| | 実績 | 利益率 | 実績 | 利益率 | 2025/9/11開示 上方修正後 通期計画 (期初計画) | 達成率 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 6,612 | — | 7,111 | — | 7,073 (6,700) | 100.5% | +499 | +7.5% |
| 売上総利益 | 1,666 | 25.2% | 1,914 | 26.9% | — | — | +247 | +14.8% |
| 営業利益 | 505 | 7.6% | 753 | 10.6% | 743 (544) | 101.3% | +248 | +49.1% |
| 経常利益 | 510 | 7.7% | 753 | 10.6% | 744 (544) | 101.2% | +242 | +47.5% |
| 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 339 | 5.1% | 508 | 7.1% | 508 (352) | 100.0% | +169 | +49.8% |

米価の高止まりを背景に、鮮度保持や小袋ニーズに応える包装機械の受注・販売が好調

5kgの米価格

(スーパーでの販売価格平均)

- 2024年1月 2,000円
- 2025年11月 4,316円

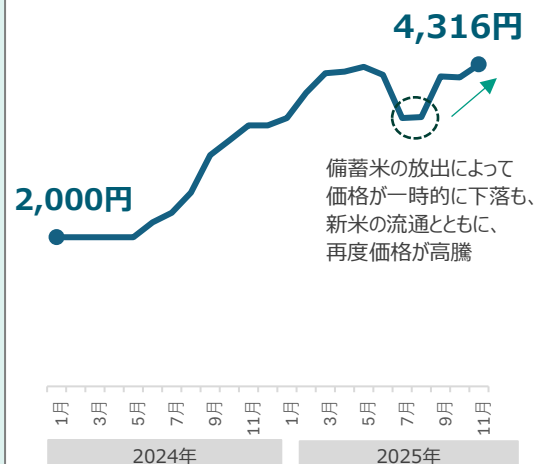


- 10kgなどの大袋需要が減少し、値ごろ感を狙った4kgや小容量の2kgの需要が拡大（詰め作業などの仕事量が増加）
- 米の鮮度保持ニーズが増加



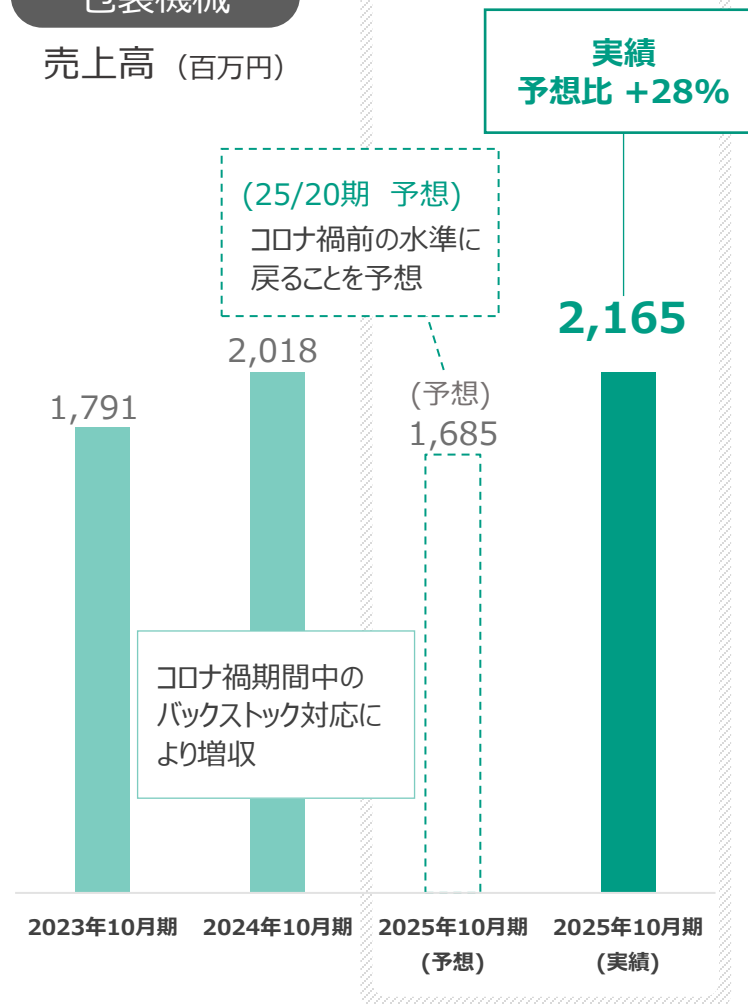
小容量化による生産性低下を背景に、高速化と鮮度保持に対応した当社包装機への**更新（新機種への買い替え）**が増加

米価格推移(※)



包装機械

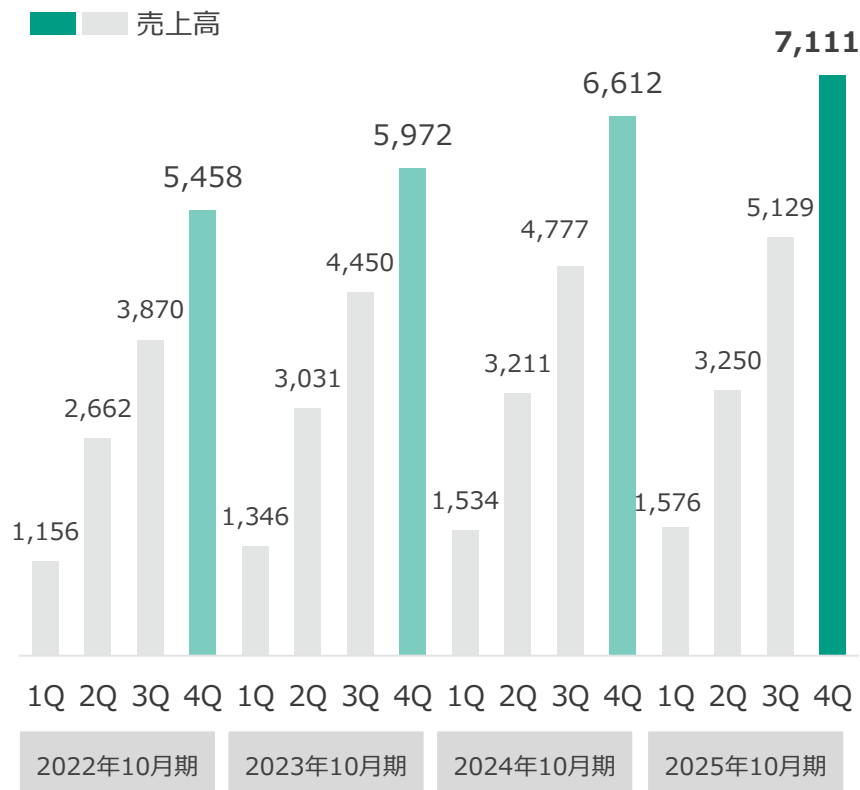
売上高 (百万円)



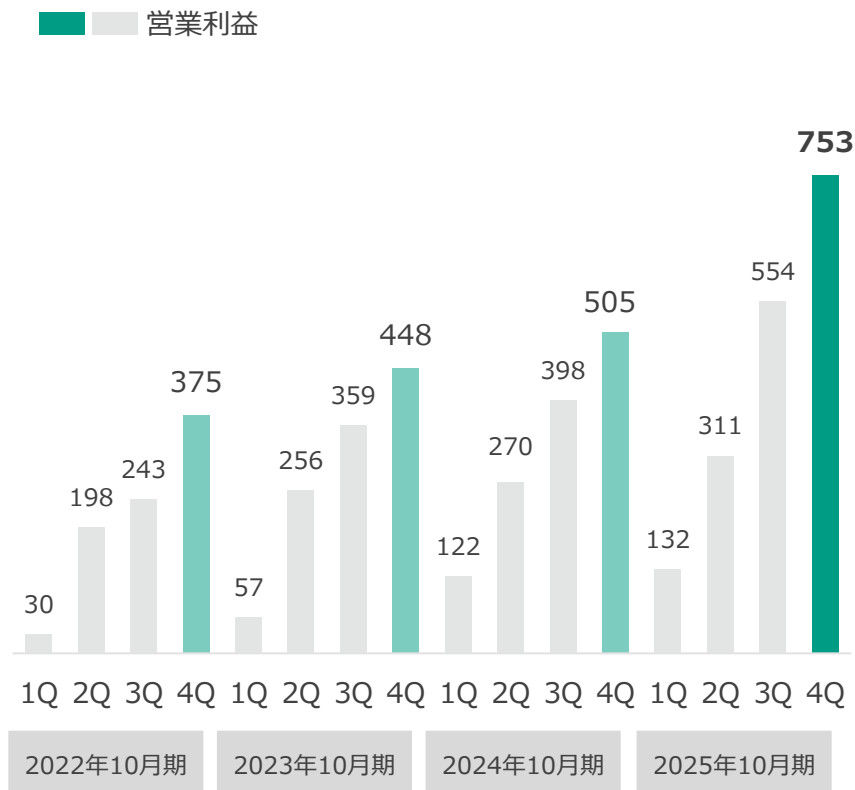
※農林水産省「スーパーでの販売数量・価格の推移（KSP-POSデータ全国等）（令和7年11月28日）」より作成

全四半期において前年同期比で増収増益で推移

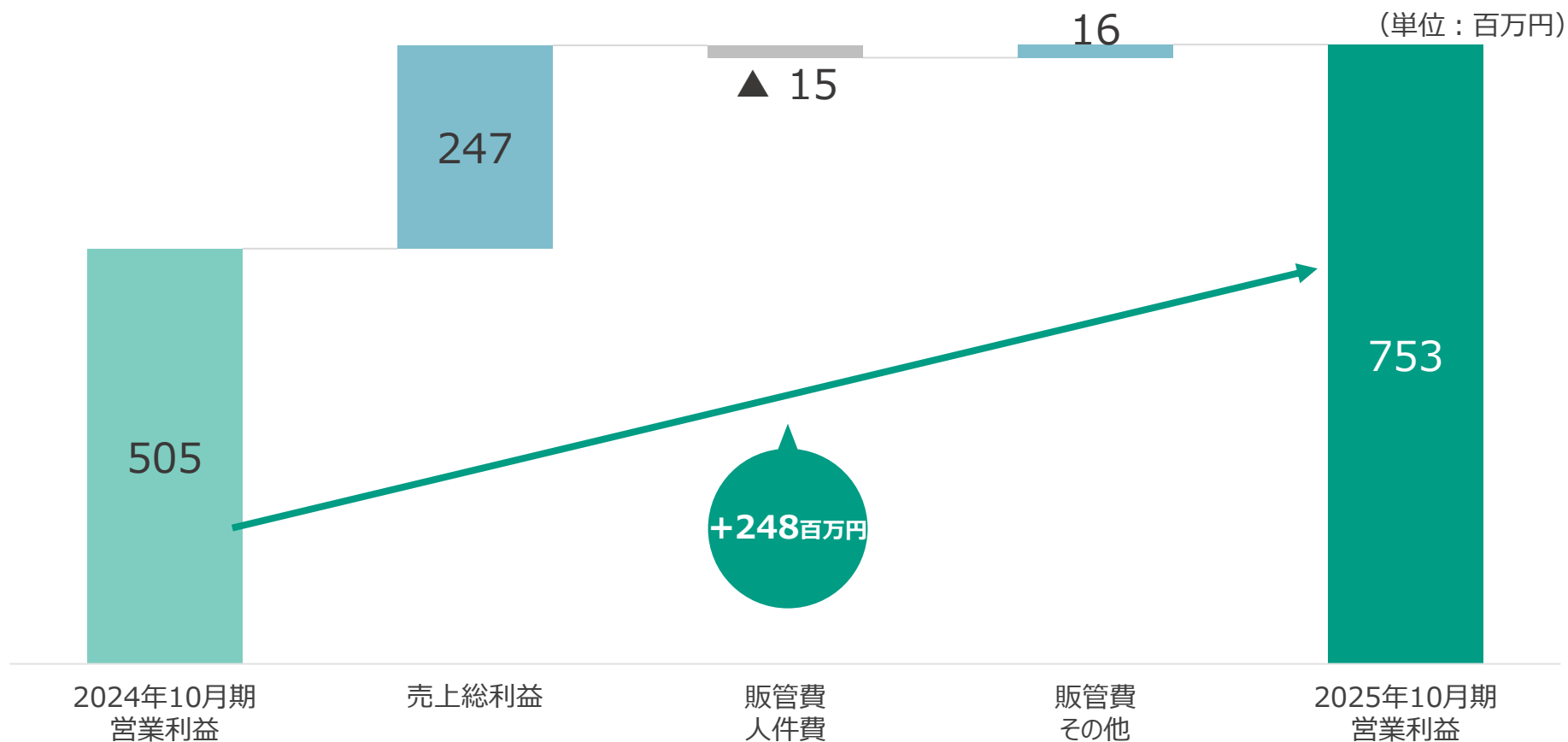
売上高（百万円）



営業利益（百万円）



売上総利益が増加 営業利益は前年同期比で248百万円の増益



包装関連事業

増収増益を達成

包装資材 | コメ価格高騰を背景に小容量化ニーズが増加。家庭用資材の販売が好調に推移
包装機械 | 鮮度保持ニーズや省力化に貢献する製品の受注増。更新需要も重なり好調に推移

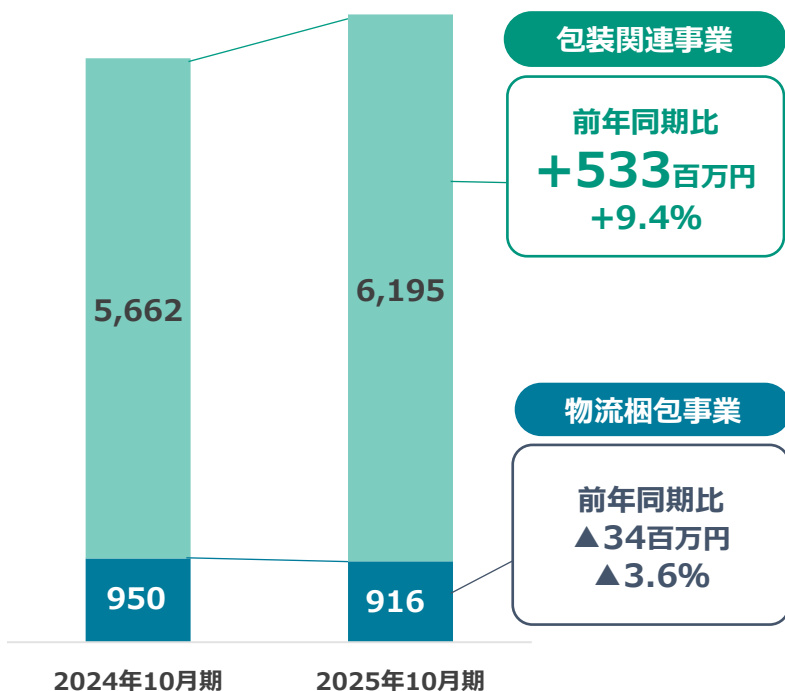
物流梱包事業

増益達成

大手通販会社の低コスト梱包資材への変更により一時的な減収(通期予想に織り込み済み)
展示会を活用した新規顧客からの引合が増加中

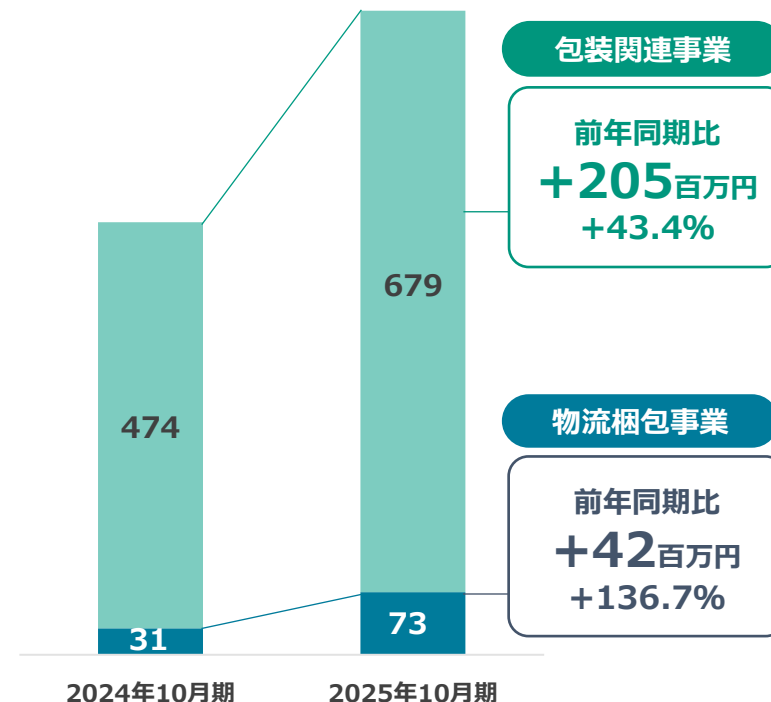
売上高

(単位：百万円)



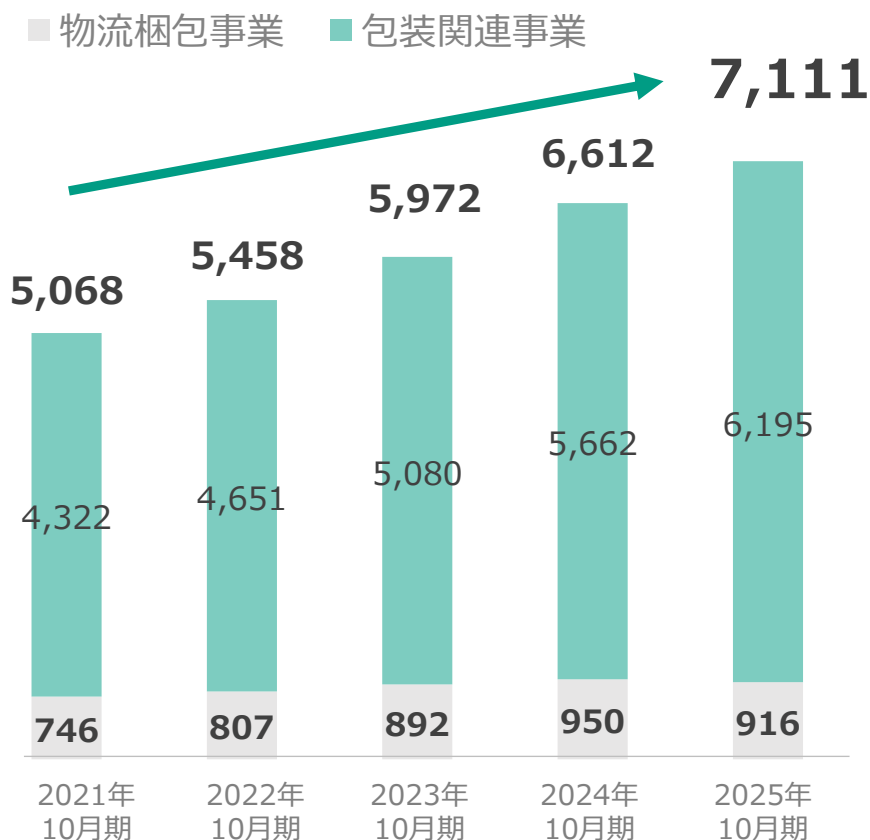
セグメント利益

(単位：百万円)

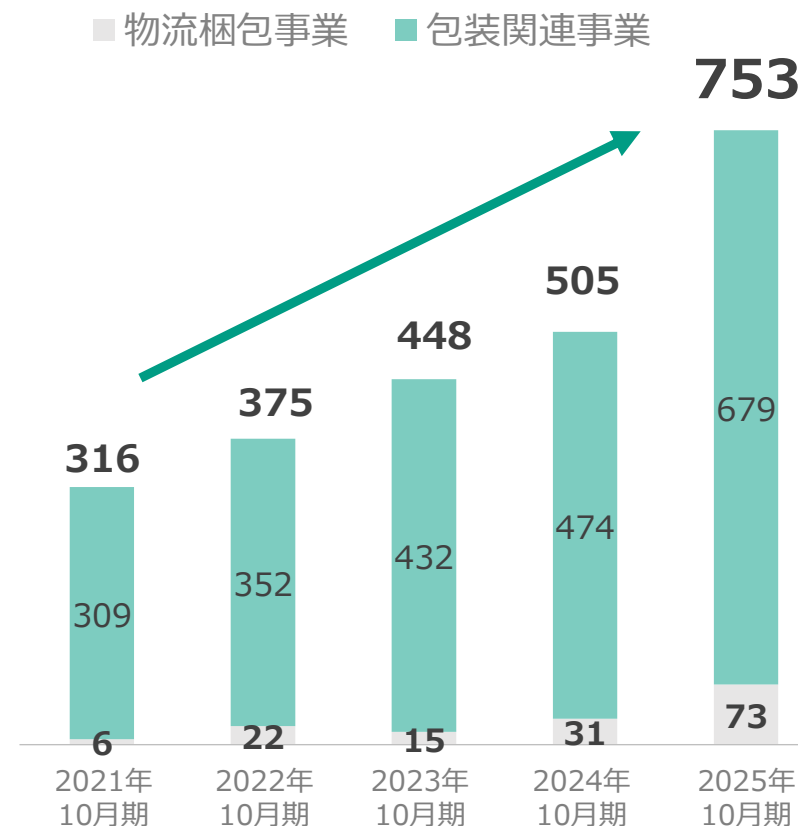


売上高・営業利益ともに過去最高を達成 着実に業績を拡大中

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



| (単位：百万円) | 24/10期 | 25/10期 | 増減額 | 主な増減要因 |
|----------|--------|--------|------|---|
| 総資産 | 4,113 | 4,910 | +796 | 主に現預金805百万円の増加、 売上債権127百万円の減少 |
| 負債 | 2,201 | 2,560 | +359 | 主に仕入債務326百万円の増加 |
| 純資産 | 1,912 | 2,349 | +437 | 主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上 株主配当による利益剰余金の減少 |

| (単位：百万円) | 24/10期 | 25/10期 | 増減額 | 主な増減要因 |
|--------------------|--------|--------|------|--|
| 営業CF | 479 | 977 | +498 | 税金等調整前当期純利益 753 仕入債務の増加 326 法人税等の支払 ▲210 |
| 投資CF | ▲62 | ▲45 | +16 | 固定資産の取得 ▲44 |
| 財務CF | ▲209 | ▲126 | +83 | 長期借入金の返済 ▲35 配当金の支払 ▲78 |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 1,462 | 2,268 | +805 | |

Ⅲ. 2026年10月期 業績予想

包装関連事業を中心とした好調な業績を継続すると同時に
重点施策の着実な実行により増収・増益を目指す

| (単位：百万円) | 25/10期 (実績) | 利益率 | 26/10期予想 (上期予想) | 利益率 | 前期比 | |
|--------------------------|----------------|-------|--------------------|-------|--------|-------|
| | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 7,111 | — | 7,360 (3,649) | — | +248 | +3.5% |
| 売上総利益 | 1,914 | 26.9% | 1,996 | 27.1% | +82 | +4.3% |
| 営業利益 | 753 | 10.6% | 810 (463) | 11.0% | +56 | +7.5% |
| 経常利益 | 753 | 10.6% | 809 (462) | 11.0% | +56 | +7.4% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 508 | 7.1% | 548 (315) | 7.5% | +40 | +7.9% |
| 1株当たり当期純利益 (EPS.単位:円) | 384.39 | — | 414.74 | — | +30.35 | +7.9% |

| (単位：百万円) | | 25/10期 | 26/10期 | 前期比 | |
|----------|--------|--------|--------|------|--------|
| | | 実績 | 予想 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 包装関連事業 | 6,195 | 6,430 | +234 | +3.8% |
| | 物流梱包事業 | 916 | 930 | +13 | +1.5% |
| | 合計 | 7,111 | 7,360 | +248 | 3.5% |
| 営業利益 | 包装関連事業 | 679 | 720 | +41 | +6.1% |
| | 物流梱包事業 | 73 | 89 | +15 | +20.9% |
| | 合計 | 753 | 810 | +56 | +7.5% |

※セグメント別の営業利益は、のれん償却費及び販管費等の配賦等を調整したセグメント利益を記載しております。

包装関連事業

包装資材

売上高 (百万円)

3,870

4,177

(計画)
4,265前期比
+87百万円
(+2.1%)

2024年10月期 2025年10月期 2026年10月期

包装機械

売上高 (百万円)

1,791

2,018

(計画)
2,165前期比
+146百万円
(+7.3%)

2024年10月期 2025年10月期 2026年10月期

26年10月期見通し

- ・ コメ流通業界は、コメ価格の高止まりや政府の農業政策による影響など流動的な状況が続く中、顧客ニーズへの柔軟な対応を継続し、前年比2.1%増の見込み

重点施策

- ①米穀市場でのブランド価値向上と差別化戦略の推進
- ②品質の維持・向上と、迅速かつ確実な納期対応の実現
- ③西日本市場での売上・利益の拡大を目指す

26年10月期見通し

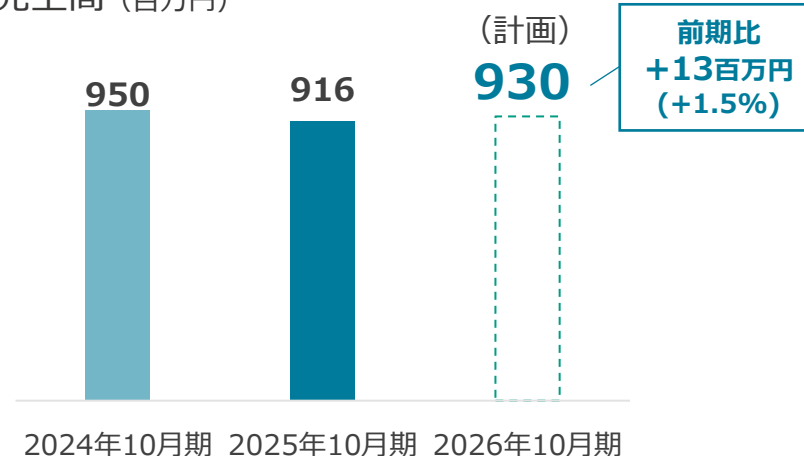
- ・ 好調な受注状況を背景に、前期比7.3%増を見込む

重点施策

- ①設計からアフターサービスまでの体制強化と改善の推進
- ②積み上がった受注に対応し安定供給実現
- ③鮮度保持パッカーの販促強化

物流梱包事業

売上高（百万円）



26年10月期見通し

- ・ 脱プラや紙資材への関心の高まりに対応した提案力強化と、顧客ニーズに即したソリューションを積極的に展開

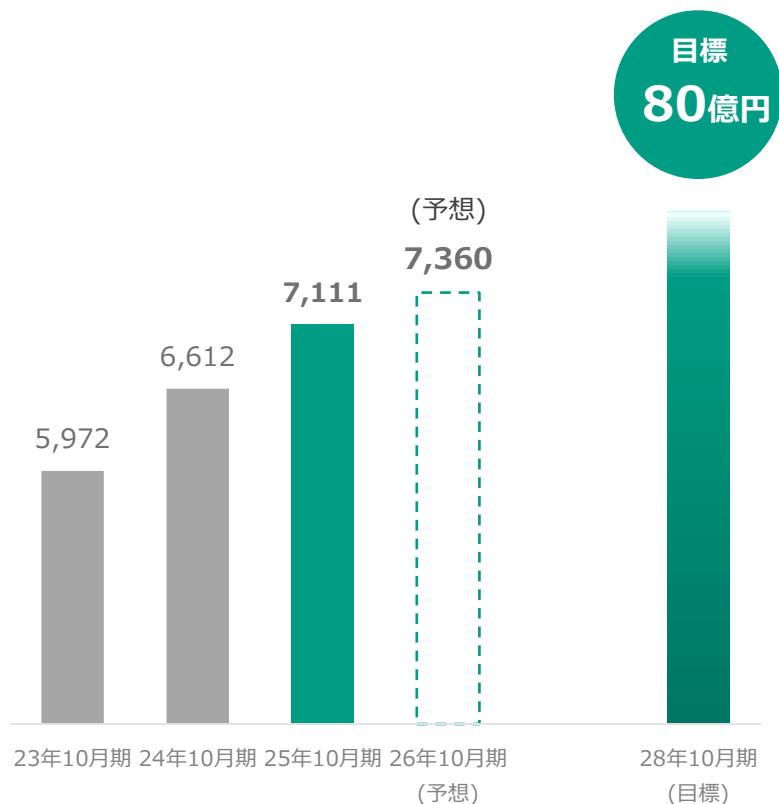
重点施策

- ①新商材を活用した紙緩衝材の販売競争力強化
- ②リサイクル商材など環境配慮型商材の拡販
- ③展示会などを活用した新規開拓の推進

IV. 中期経営方針 および 今期トピックス

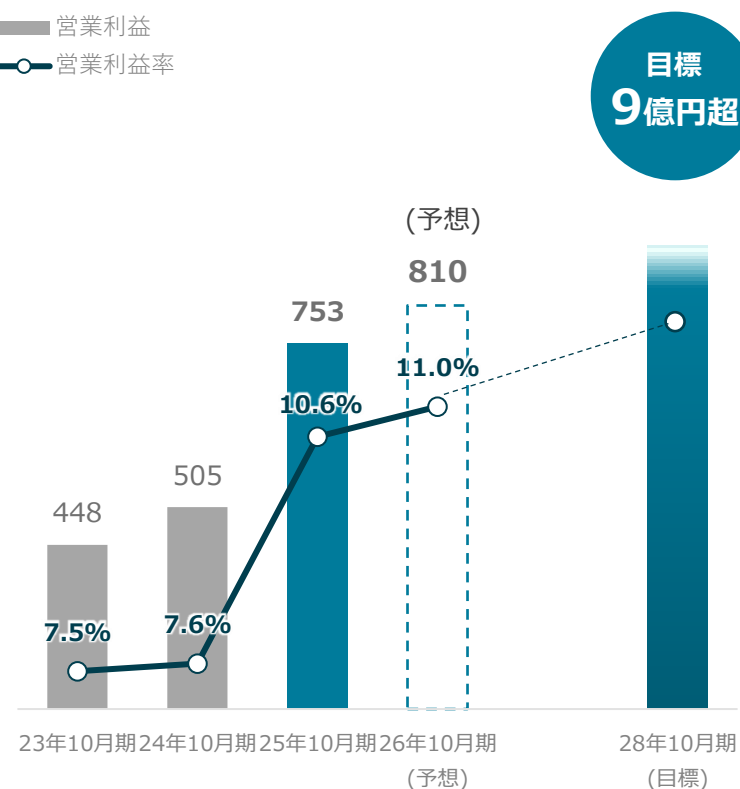
足元の事業環境への対応に注力し、中期経営計画の策定は見送る
**中期経営方針に変更はなく、3年後に売上高80億円、
 営業利益9億円超を目指す**

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)

■ 営業利益
 ○ 営業利益率



3つの拡大ポイントにおける重点施策を推進し、事業を拡大



- M&Aや業務提携を積極的に展開
- バランスの取れた資本政策を推進

- 米穀市場以外の新市場への販売を促進
- 導入実績の横展開など、新市場の基盤構築の加速
- 資材・設備・サービスなどの取り扱い商材の拡充・開発

- 米穀用自動計量包装機国内トップとしてシェア拡大
- 商品・サービスの開発力・提案力の強化と品質維持向上
- 海外向け売上の拡大
- 西日本市場売上、利益の拡大
- サステナブルな社会の実現に寄与し、事業規模の拡大

既存顧客へのソリューション営業の実践

顧客の鮮度保持ニーズへ機械と資材の両面からアプローチ

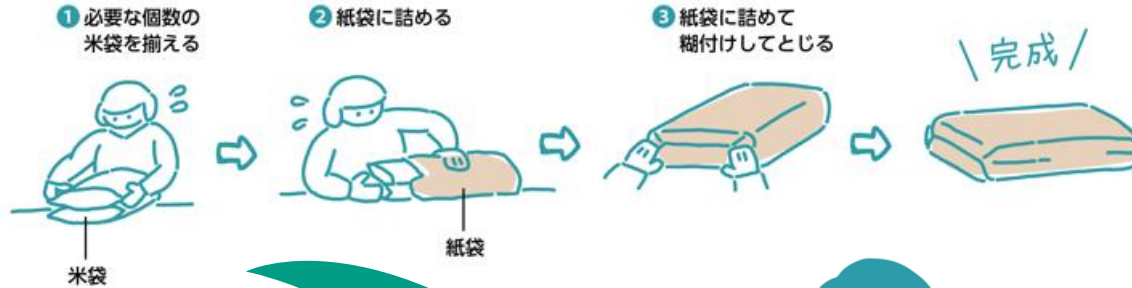


精米の鮮度保持（窒素ガス充填）ニーズに対応した計量包装機

鮮度保持包装課題に訴求したチャック付横ガゼットロール袋

まとめ包装の合理化、省力化を実現できる機械の販促

before

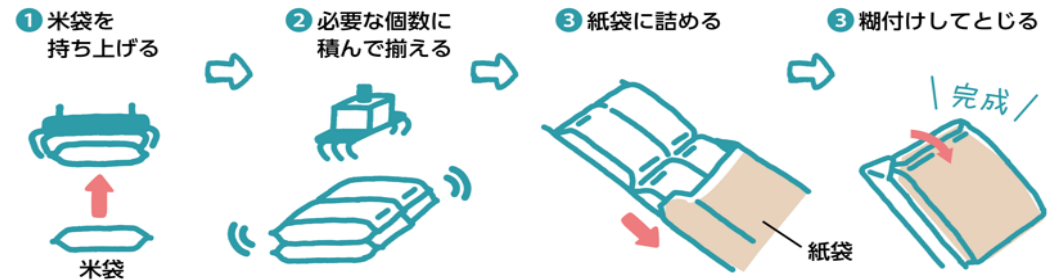


複数のコメ袋をまとめることができる、二次包装機の引き合いが好調。省力化・省スペース化を実現できる製品の提案を進め、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進。

after



重労働の作業もボタンひとつで全て自動化！

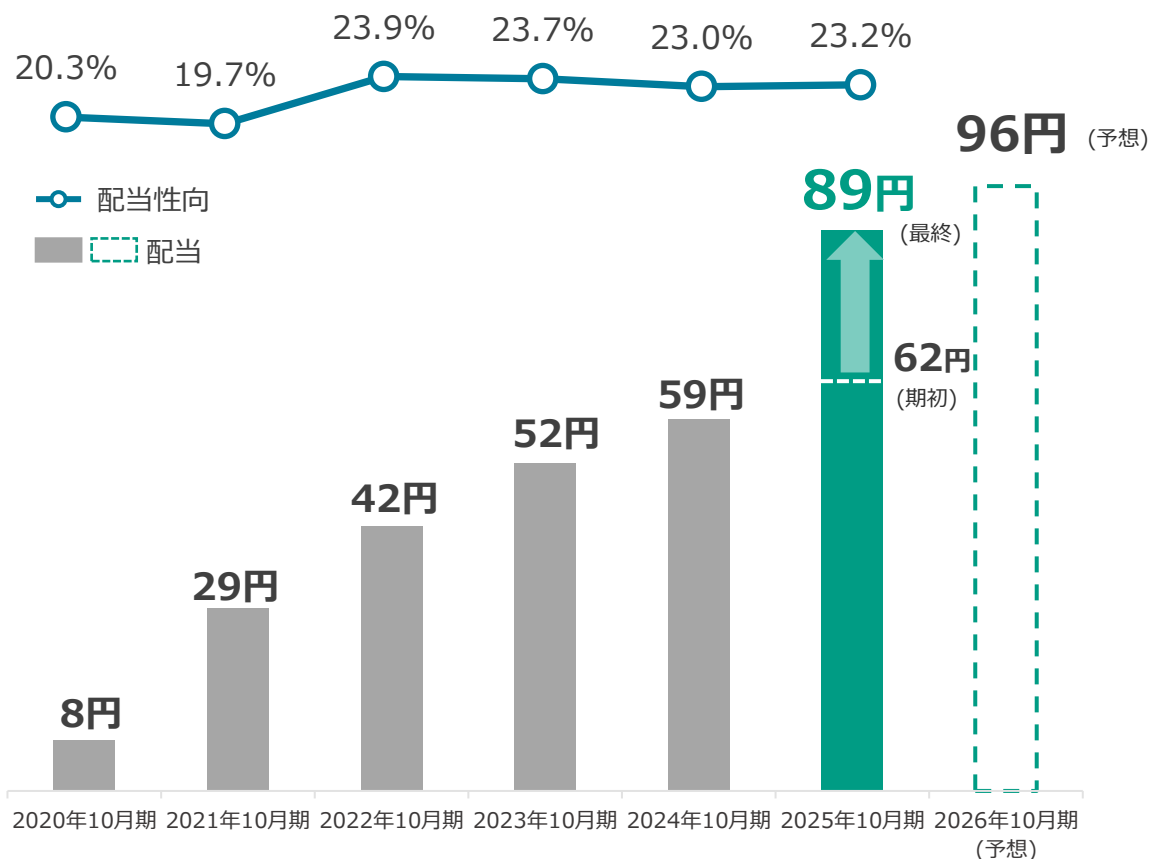


V. 株主還元

25/10期は、前期比で**30円増配**、
26/10期は前期比で**7円増配し96円の予定**

基本方針

事業拡大に必要な内部留保との
バランスを図りながら連結配当性
向25%程度を目標としつつ、**継続
的かつ安定的な配当を実施**



※2020年8月12日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っており、
1株当たりの年間配当金につきましては当該株式分割後の配当額を記載しております。

VI. Appendix

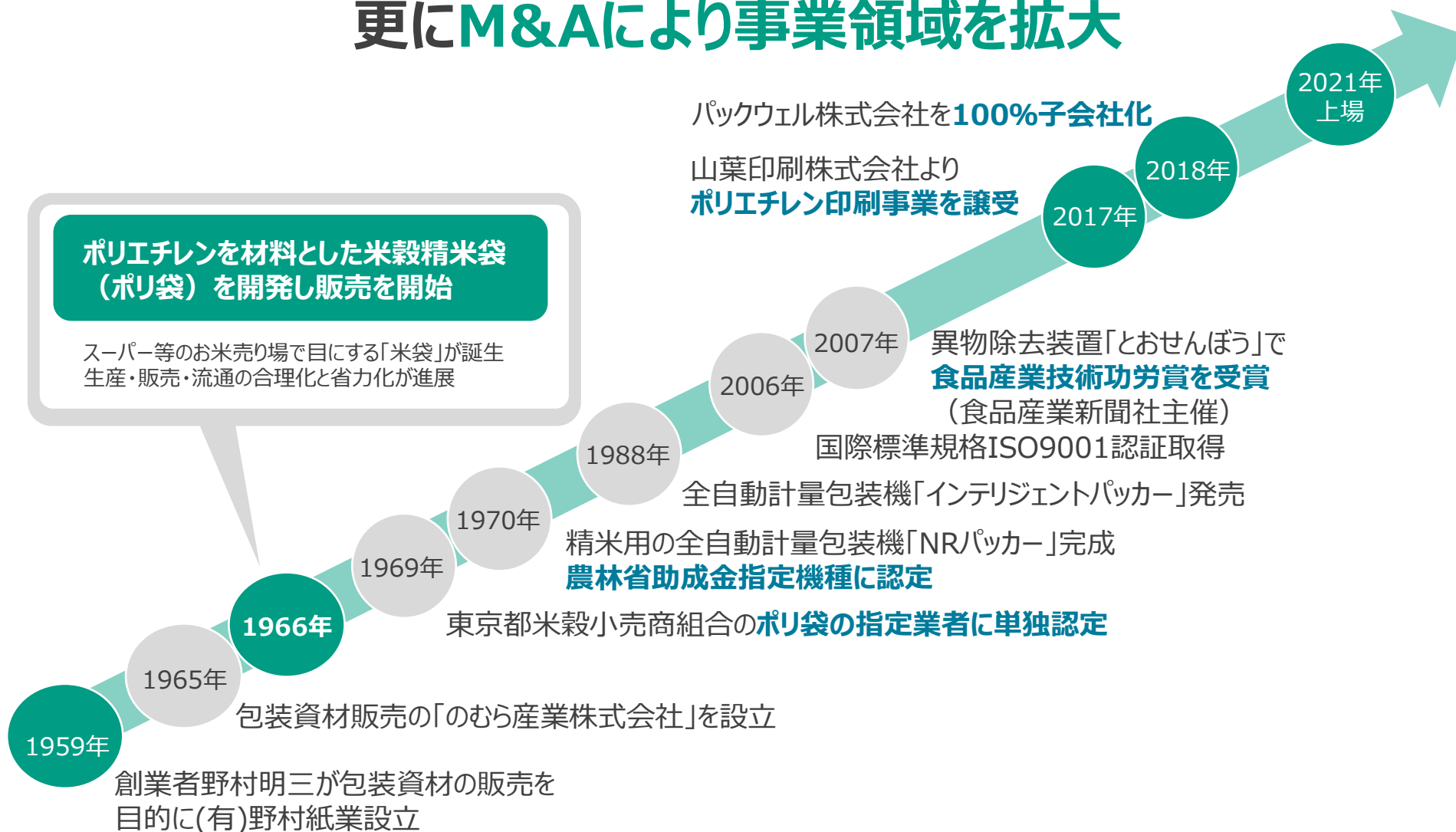
| | |
|--------|---|
| 会社名 | のむら産業株式会社 |
| 設立 | 1965年（昭和40年）11月 |
| 会社所在地 | 東京都東久留米市前沢5丁目32番23号 |
| 代表者 | 代表取締役社長 清川 悦男 |
| 資本金 | 80,000,000円 |
| 決算期 | 10月 |
| 発行済株式数 | 1,391,575株（自社株含む） |
| 従業員数 | 112名（平均臨時雇用人員含む） ※25/10/31時点（連結） |
| 連結子会社 | バックウェル株式会社 山葉印刷株式会社 BJT JAPAN合同会社 |
| 監査法人 | EY新日本有限責任監査法人 |
| 事業内容 | <p><包装資材部門> 米穀精米袋を中心とした食品及びその他の包装資材の企画・デザイン及び販売</p> <p><包装機械部門> 米穀用自動計量包装機を中心とした計量包装機械の企画開発及び製造販売</p> |

経営理念

人に優しい新技術をモットーに、
常に使う人の身になっての
商品づくりに努め、
お取引先の皆様とのビジネスを通じて
社会に貢献していきます。



設立半世紀を超えた米穀包装資材・機械のパイオニア 更にM&Aにより事業領域を拡大



当社グループはBtoBを中心とした2つのセグメントで構成

包装関連事業

(%:売上構成比)

物流梱包事業

約
85%

包装機械

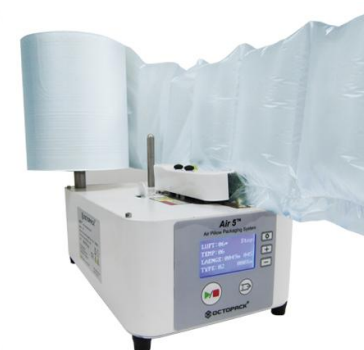
設計・製造、
販売・アフターサービス

包装資材

デザイン・印刷・販売

約
15%

販売・
ソリューション



米袋を中心とした食品及びその他の包装資材の企画・デザイン及び販売



調査／マーケティング

市場調査・データ分析による
時事に合ったトレンドを発掘



設計＆デザイン

要望に合ったベストなプラン
& デザインをご提供



販売／納品








様々なパッケージや
ラベルの製品

- ✓ オリジナル米袋
- ✓ チャック付サイドガゼットロール
GZR
- ✓ 環境配慮型米袋

米穀用自動計量包装機を中心とした計量包装機械の企画開発及び製造販売

| 製品 | パーセルⅡ HP15D | インテリジェントパッカー ネオス DSR-110 | スーパーインテリジェント パッカー SIP-110RⅡ | ネクサス NX-180R |
|-------|---|--|---|---|
| |  |  |  |  |
| 最大の特徴 | 計量機と包装機が一体化 | | | |
| 性能 | ±2gの計量精度と 5袋～6袋/分の能力 | 1基の計量機で 10袋／分（5kg時）の包装能力 | 計量機2連搭載 | 3基の計量機で高速化を実現 |
| 操作性 | マイコン自動制御で高精度な計量 と計量回数機能搭載 | サイドグリップ方式で 確実に袋を保持 | 各機構部をユニット化し清掃・調整・メンテナンスが容易 | |
| その他 | 小スペースで設置可能な コンパクトサイズ | 省エネ性能で、エアー消費量、 電力消費量を削減 | バーコードの読み込むだけでフィルムサイズ、計量値、 シール設定、印字位置等を自動型替え可能 | |

顧客ニーズに適した様々な包装機械・オプションなども企画・開発

| 異物除去機 | | | 集積包装機 | |
|--|--|--|--|---|
|  | | |  |  |
| 糠玉取機（とおせんぼう） | | | フレキシブルミニサッカー MS-5000H1・H2 | フレキシブルオートサッカー FAS-2010BP |
| 給袋式自動計量包装機 | | | チューブロール袋用包装機 | |
|  |  |  |  | |
| NRP-6 | ジャスティーン NKC-01A | ジャスティーン NKR-01A | PLN-400 | |

物流におけるパッケージ現場の問題解決策の提案や海外の優れた製品・資材を輸入・販売

包む

大切なモノを優しく包む

- エアー包装材システム
- 紙緩衝材システム
- 表面保護フィルム

埋める

大切なモノの隙間を埋める

- エアー緩衝材システム
- 紙緩衝材システム

封をする

大切なモノを運ぶため封をする

- 封かん・製函機
- ガムテープ繰出し機

ワレモノ専用 包装材



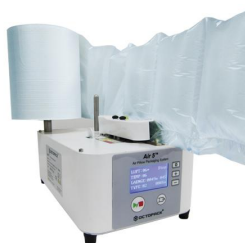
ワインボトルや薬品ボトル等、守りたい商品の形状にフィット

エアー包装材 システム



フィルムに空気（エアー）を注入して袋状の緩衝材を高速で製造するシステム

エアー緩衝材 システム



簡単操作でフィルムを縦置きにすることで最小のスペースを実現（環境にも優しいバイオフィルム）

紙緩衝材システム



脱プラの風潮に適した緩衝性能の高い紙パッドタイプの緩衝材システム

封かん・製函機



段ボールケースの上下面をテープ貼りする自動封かん機



マニュアル梱包の現場におけるガムテープ封かん作業効率システム

- 本資料は、会社情報、経営計画、連結業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

のむら産業株式会社 管理部

Web : <https://www.nomurasangyo.co.jp/ir/>